

沖縄特集上映

Cinamarine Okinawa Special Program

2014.6.21(Sat)-7.4(Fri)

いちばん遠いけど、いちばん身近な沖縄!『歴史』『現在』『文化』を岩手の宮古で感じ考えよう!



映画【ひまわり～沖縄は忘れない あの日の空を～】

上映時間①12:20 ②19:00

鑑賞料金各作品:前売券1,000円 お得です!

※当日料金(各作品ごとになります)

一般1,600円 シニア(60歳以上)1,100円 学生以下800円

HALクラブ、その他シネマリン発行券も有効です。



ドキュメンタリー映画【ふじ学徒隊】

上映時間①14:20

基地問題



ドキュメンタリー映画【標的の村】

上映時間①10:40 ②15:20



ドキュメンタリー映画【スケッチ・オブ・マーク】

上映時間①17:00 (6/27～7/4)

6月23日【慰霊の日】

1945年6月23日に沖縄戦の組織的戦闘が終結したことにちなんで、琉球政府及び沖縄県が定めた記念日です。

戦争・平和

今年は155年!【多良間村は姉妹市村】

1859年宮古の商船が76日間の漂流の末に多良間島に漂着し、島民の手厚い看護を受け乗組員全員が無事帰還しました。この縁で姉妹市村となって交流が続いています。

文化

まちおこし



ドキュメンタリー映画【歌えマチグラー】

上映時間①17:00 (6/21～6/27)

主催:沖縄特集上映実行委員会

共催:映画「ひまわり～沖縄は忘れない あの日の空を～」を観るいわての会

後援:宮古市、宮古市教育委員会、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局
IBC岩手放送、岩手朝日テレビ、テレビ岩手、めんこいテレビ

Web Cinema

CINEMARINE

実行委員会事務局 みやこ映画生活協同組合

宮古市小山田2-2-1マリンコープDORA2F

お問い合わせ:TEL0193-64-5588(シネマリン内)



【ひまわり～沖縄は忘れない あの日の空を】 6/21(土)～7/4(金) ①12:20 ②19:00

そのジェット機は炎上しながら学校に落ちた…実際の事件を元に今の日本に問う感動の意欲作!

いまなお基地問題に苦しむ沖縄で、米軍のジェット機が小学校に墜落し、住民6人、学童11人の尊い命が奪われるという、1959年に起きた実際の悲劇を基に描いた人間ドラマ。出演は長塚京三、須賀健太、能年玲奈。監督は及川善弘。宮森小学校に通う6年生の山城良太は、転校生の宮城広子にほのかな恋心を抱きながら、楽しく穏やかな学校生活を送っていた。ところが1959年6月30日、嘉手納基地を飛び立った米軍のジェット戦闘機が炎上しながら小学校に激突、平和な教室は一瞬にして地獄絵図と化す。52年後の2012年、良太の孫・琉一は、大学のゼミで2004年の沖縄国際大学へ「墜落事件とともに宮森小ジェット戦闘機墜落事件のレポートを制作することに。しかし良太をはじめ、事件の傷痕がいまも深く残る関係者たちの口は重く、調査は思うように進まなかった。」



<allcinema> (110分) 監督:及川善弘 出演:長塚京三、須賀健太、能年玲奈、福田沙紀

ドキュメンタリー映画【標的の村】 6/21(土)～7/4(金) ①10:40 ②15:20

2012年9月29日。アメリカ軍・普天間基地は完全に封鎖された。この前代未聞の出来事を「日本人」は知らない。

試験段階で多くの事故が発生したことなどから、その安全性に対する不安が解消されない中、2012年10月、地元沖縄県民の反対を押し切り米軍普天間基地への配備が強行された新型輸送機オスプレイ。本作は、地元テレビ局・琉球朝日放送の報道クルーが、オスプレイ配備に反対する人々の運動に密着し、理不尽が繰り返される沖縄基地問題の実情と沖縄県民の怒りをカメラに収めた渾身のドキュメンタリー。

<allcinema> (91分) 監督:三上智恵
★2012年度テレメンタリー年間最優秀賞★山形国際ドキュメンタリー映画祭2013市民賞★
★ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞★キネ旬ベスト文化映画部門第1位★他多数受賞



ドキュメンタリー映画【ふじ学徒隊】 6/21(土)～7/4(金) ①14:20

「かならず生き残れ。親元へ帰れ。」「絶対死んではならない。」

“ひめゆり”などに代表される沖縄戦に動員された学徒看護隊のほとんどが大勢の死者を出す中、配属された25名中わずか3人の戦死者にとどまったのが積徳高等女学校の“ふじ学徒隊”だった。本作は、元学徒隊の人々へのインタビューを軸に、戦場での壮絶な体験と、そこからいかにして生きて帰ることが出来たのかを明らかにし、戦争の非人間性を浮き彫りにするとともに改めて命の尊さに対する思いを見つめ直していくドキュメンタリー。



<allcinema> (50分) 監督:野村岳也

ドキュメンタリー映画【歌えマチグラー】 6/21(土)～6/27(金)※1週間上映 ①17:00

音楽な唄っているところに何か生まれる、泣いて笑って、笑って泣いて、いつでもこの場所に戻ってきていいんだよ。

歌や音楽をきっかけに再生した沖縄県那覇市安里にある栄町市場商店街の様子を収めたドキュメンタリー。1949年、「ひめゆり学徒隊」で知られる女学校の跡地に作られた公設市場の栄町市場は、沖縄の本土復帰後、大型スーパーの進出などで衰退していく。しかし、2000年代に入り、「音楽」をキーワードに有志たちが市場再生のために立ち上がる。地元住民で結成された「栄町市場おばあラッパーズ」や「栄町市場シンガーズ」といった音楽グループやバンドが市場を盛り上げ、毎年10月に「栄町市場屋台祭り」を開催するなどして活気を取り戻していく。失われつつある地域コミュニティの再生を描き出していく。「マチグラー」は「市場」の意味。



<映画.com> (90分)監督:新田義貴

ドキュメンタリー映画【スケッチ オブ ミャーク】 6/28(土)～7/4(金)※1週間上映 ①17:00

歌うことは、神とひとつになること 生きる願いは声となり、神へ届く。魂のありかミャーク<宮古島>への旅

沖縄県の宮古諸島には沖縄民謡とは異なる知られざる唄が存在した。島での暮らしや神への信仰から生まれた“古謡(アーク)”と“神歌(かみうた)”は、各集落の中で何世代ものあいだ口伝で歌い継がれてきた。本作は、そんな宮古(ミャーク)の歌に魅せられ、絶滅の危機にある歌の収集を続ける音楽家の久保田麻琴の活動を追ひ、失われつつある貴重な歌の数々を記録したドキュメンタリー。



<allcinema> (104分) 監督:大西功一